

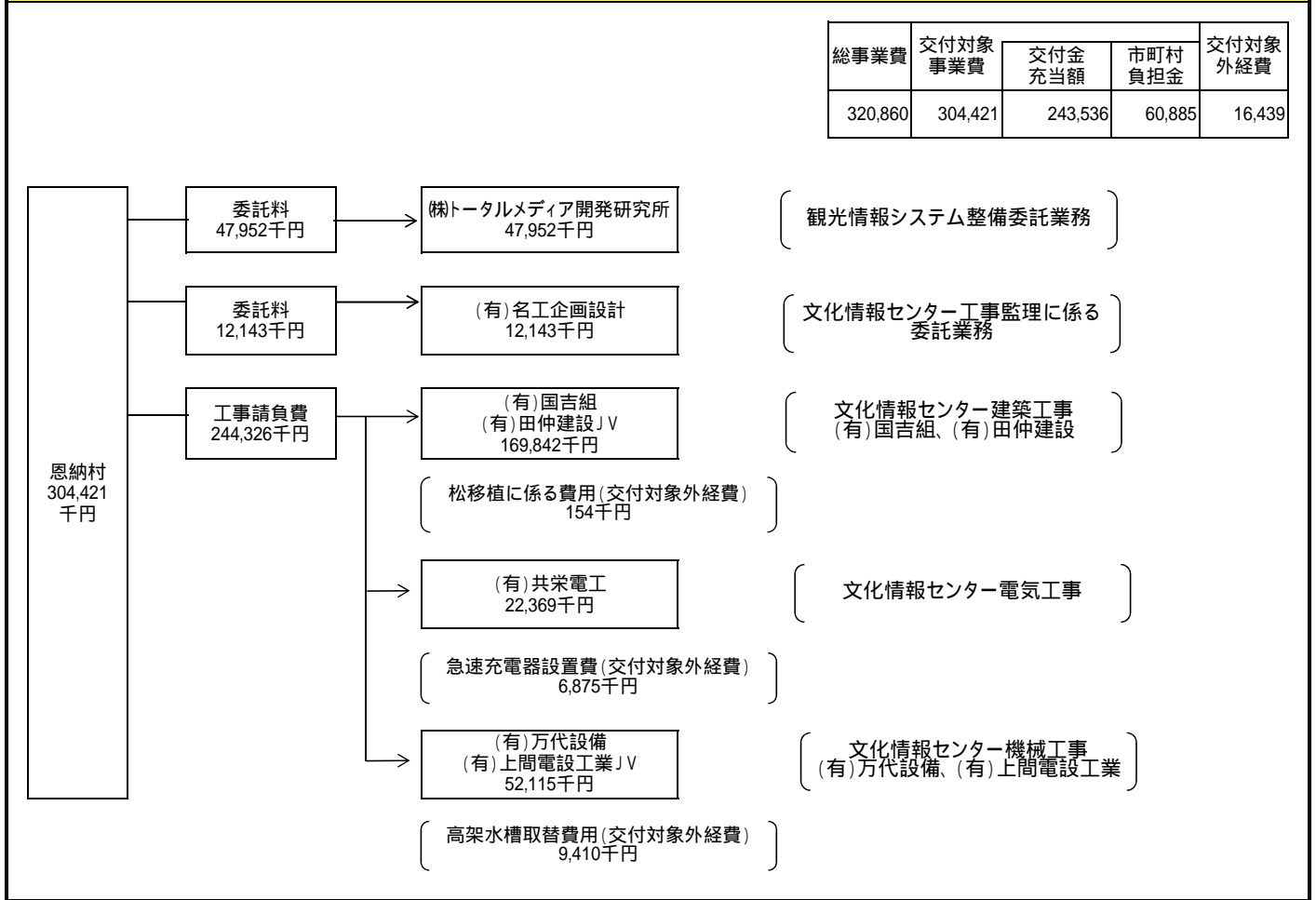
市町村名		恩納村					
平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1 - 文化・観光情報発信拠点整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章 - 3 - (2) - ウ		
	担当部課名	社会教育課	事業実施(予定)年度	平成24～26年度	沖縄振興基本方針該当箇所	- 1 - (1)	
事業内容	恩納村の歴史・文化並びに地域における各種イベント等の観光関連情報を観光客へ発信する拠点及び、地域住民が郷土の歴史・文化等を学習する場とし、新しい観光資源を活用した文化交流型産業を担う人材の育成を図る拠点として、「恩納村文化情報センター」の建設工事及び観光情報システムの整備を実施する。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算の状況	(a)当初予算額	52,500	352,700	334,000		
		(b)予算現額	52,500	348,822	320,861		
		(c)増減額(b-a)	0	3,878	13,139		
		(d)前年度繰越額	-	-	-		
		A.計(b+d)	52,500	348,822	320,861		
	B.執行済額		42,462	348,821	304,421		
	うち交付金充当額		33,970	276,541	243,536		
	次年度繰越額		-	-	-		
	執行率(%) (B/A)			100.0%	94.9%		
予算の状況の説明		当初予算額と予算現額の差額13,139千円は、入札残であり、最終補正により減額した。当初計画していた事業内容はすべて実施しており、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であった。					
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	文化情報センター建設工事	目標	(建設工事の実施)	(建設工事の実施)	()	()	
		実績	建設工事の実施	建設工事の実施			
	文化情報センター観光情報システムの整備	目標	()	(観光情報システムの整備)	()	()	
		実績		観光情報システムの整備			
達成状況説明	建設工事、電気工事、機械工事を実施し、恩納村文化情報センターを竣工することができた。 観光案内フロアへの観光情報システムの整備を実施し、観光案内フロアに観光情報システムを設置することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)
	文化情報センター建設工事の完了	目標	()	(建設工事の実施)	(建設工事の完了)	()	()
		実績		建設工事の実施	建設工事の完了		
	文化情報センター観光情報システムの整備の完了	目標	()	()	(システム整備の完了)	()	()
		実績			システム整備の完了		
	進捗状況説明	建設工事、電気工事、機械工事並びに観光案内フロアに観光情報システムを整備することができた。「恩納村文化情報センター」は平成26年度において竣工。平成27年度に供用開始の見込みである。					

	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> 観光案内フロア並びに各情報コーナーにおける観光客への効果的なサービス提供について、関係各課、関係機関並びに観光宿泊施設等との連携が不十分である。 恩納村文化情報センターの周知が不十分である。 	<ul style="list-style-type: none"> 関係各課並びに関係団体と連携を図るため、情報の交換・共有化に努め、文化情報センターの効果的な運用・管理方法を検討する必要がある。 村内並びに本島北部で開催される各種イベント情報・観光情報などの積極的な情報収集が必要である。 恩納村文化情報センターの広報活動を積極的に行い、周知を図る必要がある。

今後の取り組み方針

- ・恩納村文化情報センターの効果的なサービスの提供のあり方について関係各課、機関と連携を図り、観光・宿泊施設との意見交換等の実施に取り組む。
- ・恩納村文化情報センターで発信する情報を各事業者等に周知し、情報の収集と発信の促進に取り組む。
- ・HPなどを活用し、積極的に広報・啓発活動に取り組む。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位:千円)



資金の流 れ、費 目・ 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	委託事業者及び工事請負業者は、指名競争入札により選定しており、妥当であると考えます。 予算規模については、工事費等については積算基準により積算し、観光情報システム整備事業費については、三者見積により積算しており妥当であったと考えます。 費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		恩納村						
平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1 - 仲泊内海周辺活性化施設整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(2)-ウ			
	担当部課名	企画課		事業実施(予定)年度 平成24～28年度		観光客の受入体制の整備		
				沖縄振興基本方針該当箇所		-1-(1)		
事業内容	恩納村及び西海岸リゾート地域の玄関口である仲泊内海を魅力あふれる観光地として更なる誘客活動を実施するため、平成24年度に実施したプロムナードに引き続き、魅力あふれる観光地づくりとして駐車場拡充及び周辺外構等の整備を実施する。							
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	152,067	-		47,090		
		(b)予算現額	200,387	-		49,138		
		(c)増減額(b-a)	48,320	-		2,048		
		(d)繰越額	-	197,237		-		
		A.計(b+d)	200,387	197,237		49,138		
	B.執行済額		3,150	185,602		49,138		
	うち交付金充当額		2,520	138,447		39,310		
	次年度繰越額		197,237	-		-		
	執行率(%) (B/A)		1.6%	94.1%		100.0%		
予算の状況の説明		当初、予算額は駐車場整備事業のみであったが、農水産物販売センターの誘客増加に伴い、関係機関で協議した結果、休憩スペース等の施設整備についても必要となった。また駐車場の設計見直しにより、事業費を削減できたことから、一部補正を行い(C増減額の2,048千円)、外構工事の予算に充当し実施した。						
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	仲泊内海周辺に隣接する駐車場改修設計・工事及び周辺の外構工事を実施		目標	(調査・実施設計・整備工事)	()	(実施設計・整備工事)	()	
			実績	調査・実施設計・整備工事完了		実施設計・整備工事完了		
			目標	()	()	()	()	
			実績					
達成状況説明	仲泊内海周辺活性化施設の設計業務及び整備工事を実施した。 ・駐車場改修工事:(一般車73台、大型車6台) ・外構工事:(休憩施設、植栽)							
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)	
	仲泊内海周辺に隣接する駐車場改修設計・工事及び周辺外構工事の完了		目標	()	(調査・実施設計・整備工事)	()	(実施設計・整備工事)	()
			実績		調査・実施設計・整備工事完了		実施設計・整備工事完了	
			目標	()	()	()	()	
			実績					
	進捗状況説明	H24年度に実施したプロムナードにより仲泊内海周辺にある既存の活性化施設(農水産物販売センター、博物館)に加え、H26年度に完成した「恩納村文化情報センター」までの内海側の動線が結ばれた。更に本事業で実施した、駐車場拡充、外構整備工事により、受入体制の整備に加え、訪れた観光客がくつろげる魅力ある観光地づくりが形成された。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・内海へ堆積している泥等が、観光地としての景観に影響を与えていることから改善が必要である。</p>	<p>・仲泊内海周辺活性化施設整備事業の中で、浚渫工事等を検討する。</p>

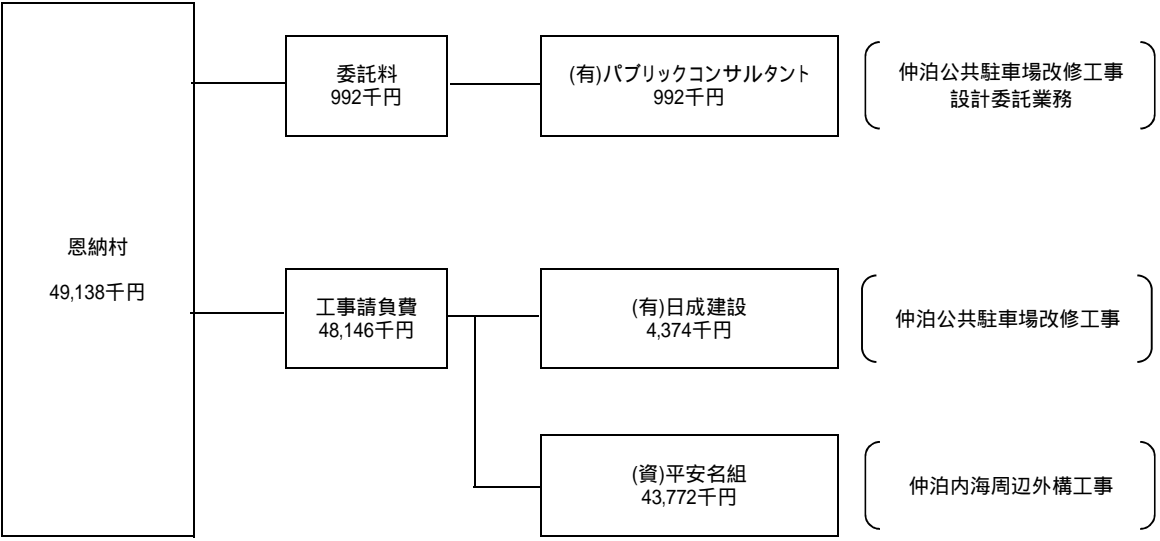
今後の取り組み方針

仲泊内海地内で沖縄振興特別推進交付金事業による「恩納村文化情報センター」が平成26年度に完成したことから、同事業で実施したプロムナードの更なる活用が見込まれる。引き続き関係機関と内海周辺の安全対策を強化・検討する。

内海の浚渫、親水性の整備についても引き続き検討していく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		交付金	市町村負担金	
49,138	49,138	39,310	9,828	0



資金の流 れ、費 目、 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○委託請負業者については予定価格が少額であったため、三者による見積入札により業者選定を行った。地方自治法及び村規則において、随意契約範囲であり妥当であったと考える。また工事請負業者については、指名競争入札方式により選定しておりこれについても妥当であったと考える。</p> <p>○予算規模については国土交通省積算基準書に基づき積算しており、適正な規模であったと考える。</p> <p>○費目、用途については、事業目的達成の観点から、書類及び現場確認により適正であった。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		恩納村										
平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】												
事業番号・事業名	1 - 県外観光客誘客促進事業(おんな村観光物産展事業)		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(2)-イ							
	市場特性に対応した誘客活動の展開		沖縄振興基本方針該当箇所		-1-(1)							
担当部課名	商工観光課		事業実施(予定)年度	平成24~26年度								
事業内容	東京池袋(サンシャインシティ)において、本村の観光、文化、特産品を紹介する観光物産展を開催する。エイサー演奏や特産品の販売等を行い、特産品の販路拡大、観光PRを実施する。											
実施方法	直接実施		委託	補助	負担	その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	24年度		25年度		26年度		27年度		28年度		
		(a)当初予算額	7,500		6,000		5,000					
	(b)予算現額	4,333		3,973		5,000						
	(c)増減額(b-a)	3,167		2,027		0						
	(d)繰越額	-		-		-						
	A.計(b+d)	4,333		3,973		5,000						
	B.執行済額	4,332		3,973		5,000						
	うち交付金充当額	3,466		3,178		4,000						
	次年度繰越額	-		-		-						
	執行率(%) (B/A)	100.0%		100.0%		100%						
予算の状況の説明	当初計画していた事業内容はすべて実施しており適正であった。											
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況									
			24年度		25年度		26年度		27年度			
	サンシャイン「沖縄めんそーれフェスタ」物産展の開催	目標	(物産展の開催)		(物産展の開催)		(物産展の開催)		()			
		実績	物産展の開催		物産展の開催		物産展の開催					
		目標	()		()		()		()			
実績												
達成状況説明	恩納村からは8事業所が出展し、海ぶどうやもずく、アーサそば、もずくてんぷら、パッションドレッシング等を販売した。その他恩納村の地酒「萬座」もリピーターによる購入等があり、恩納村のPR活動ができた。 恩納村青年団協議会によるエイサー演奏、村内リゾートホテル現地スタッフによる観光パンフレットの配布、恩納村ゆるきゃら「ナビーちゃん」による地元紹介等を行った。											
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)					
	サンシャイン「沖縄めんそーれフェスタ」物産展来場者数	目標	(48,000人)	(60,000人)	(82,000人)	(69,000人)	(-)					
		実績		63,440人	66,637人	75,300人						
		目標	()	()	()	()	()					
		実績										
進捗状況説明	サンシャインシティから沖縄県人会への呼びかけを行い、恩納村のHP等でも物産展を周知させた結果、県人会の方の来場も増え、毎年楽しみにしている等の声が聞けた。 沖縄めんそーれフェスタの全店出店事業所数が、25年度は伸び悩んだため26年度の成果目標である来場者数を見直したが、出店事業所が5社増加し、うち村内事業所についても5社から8社に増加したため来場者数も対前年比113%となった。											

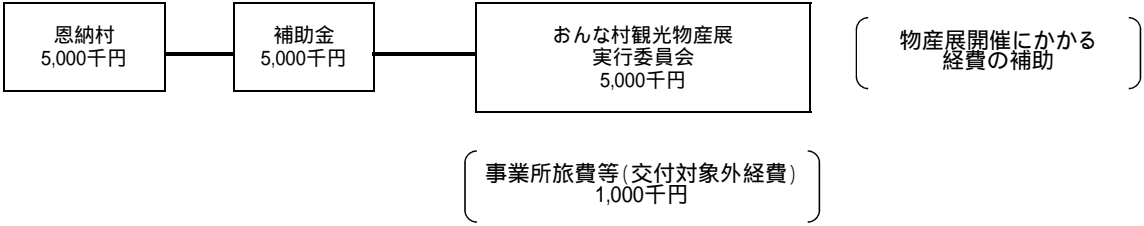
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	来場者数や売上高の増加によりPRの効果を感じているが、物産展の開催期間が10日間と長期に渡るため、派遣スタッフの負担が大きい。	10日間の物産展開催期間すべて参加するのかが等、実行委員会の意見を聴取し、参加の可否を含めて検討する。 更なるPR効果のあるイベント等を模索し、事業内容の変更を検討する必要がある。

今後の取り組み方針

開催期間や内容の検証結果が得られていないため事業を休止し、引き続き検証を実施する。
 恩納村商工会や沖縄県コンベンションビューロー等の関係機関と連携し、新たな事業展開の取り組みを検討する。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
6,000	5,000	4,000	1,000	1,000



資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○おんな村観光物産展実行委員会へ補助金を交付し事業を実施。村内事業所と連携を図り実施することができた。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、見積もりや単価により積算しており適正な規模であったと考える。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○おんな村観光物産展実行委員会へおんな村振興特別推進交付金交付要綱により80%を補助しており妥当であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。

市町村名 恩納村

平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1- 恩納村「みどりの回廊」整備事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ
担当部課名	商工観光課	事業実施(予定)年度 平成24~28年度	観光客の受入体制の整備
		沖縄振興基本方針該当箇所	-1-(1)

事業内容 魅力ある観光地づくりを行うため、国道58号線及び村内景勝地周辺を緑あふれる癒しの沿道景観づくりのほか、海浜における漂着ゴミ等の処理などを行い、観光客の誘客促進を図り地域活性化へ繋げる。

実施方法 直接実施 委託 補助 負担 その他 ()

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	(a)当初予算額	20,000	16,220	10,000		
	(b)予算現額	11,004	10,763	8,100		
	(c)増減額(b-a)	8,996	5,457	1,900		
	(d)繰越額	-	-	-		
	A.計(b+d)	11,004	10,763	8,100		
	B.執行済額	11,004	10,762	7,137		
	うち交付金充当額	8,803	8,609	5,709		
	次年度繰越額	-	-	-		
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	88%		
	予算の状況の説明	入札結果により、12月補正で1,900千円を減額した。また、不用額963千円については、車両リース料の減及び植栽の種類変更等により設計変更が生じ、契約額が減ったことによるものである。				

活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)	達成状況			
		24年度	25年度	26年度	27年度
観光地周辺や海岸沿いへの花等の植栽	目標	(380本)	(400本)	(植栽の実施)	()
	実績	429本	2,222本	植栽の実施	
漂着ゴミの除去の実施	目標	(11ヵ所)	(11ヵ所)	(漂着ゴミの除去の実施)	()
	実績	11ヵ所	11ヵ所	漂着ゴミの除去の実施	
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 重点的な植栽により観光地として魅力ある海浜を形成することができた。 観光地やそのアクセス道の草刈り、海浜における漂着ゴミの処理をすることで魅力ある景観づくりができた。 漂着ゴミ除去箇所については、当初計画どおり実施できた。海浜の苦情が特にないことから観光客等に良い景観を提供できていると考える。 				

成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)	基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
			植栽本数	(0)	(380本)	(400本)
	実績		429本	2,222本	666本	
漂着ゴミ除去箇所	目標	(0)	(11ヵ所)	(11ヵ所)	(11ヵ所)	()
	実績		11ヵ所	11ヵ所	11ヵ所	
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 平成26年度は、前年度に引き続き南恩納海岸付近を中心に植栽やコリを寄せ植えることで、魅力ある見せ場をつくることができた。 植栽については植栽の種類の変更もあったが、コリなどを重点的に植栽したこともあり目標の本数を大幅に上回った。 漂着ゴミの除去により、魅力ある景観を提供できた。最近では村内海浜等においてウェディング姿での記念撮影も増加傾向にある。 					

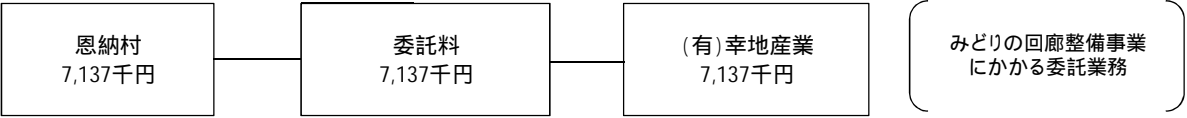
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・台風だけでなく、北風などの強風による被害が見受けられる。 ・植栽した植物の定期的な管理が必要である(散水や付近の草刈)。 ・植栽エリアを拡大していく必要がある。 ・台風の影響を考え事業開始を9月としたが、観光シーズン中に最善の景観を提供できていない状況である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支柱で対応しているが、植物が安定するまでは更なる補強が必要である。 ・自治会と協力し、雨が降らない時期の散水作業等の分担を検討する。 ・植栽箇所を村全域にすることで更なる見せ場作りをし、魅力を高める。 ・事業開始時期を早め、気象条件に対応できる植栽の選定を検討する必要がある。

今後の取り組み方針

- ・引き続き植栽エリアの拡大をしながら、重点的な箇所を選定し観光地としての見せ場を作る工夫をしていく。
- ・保安林伐採箇所へ植栽するなど、他課と調整しながら景観形成を工夫していく。
- ・自治会や村で事業期間外の管理について協議等し、事業期間外の管理が全域でできるよう工夫していく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
7,137	7,137	5,709	1,428	0



資金の流 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	委託業者は村内の造園業者の中から指名入札により選定しており、妥当であったと考えてる。予算規模については単価により積算し、入札残により補正減したが、適正な規模であったと考える。○費目・用途については、精算段階で検査を実施しており、目的に則し、必要なものであったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	恩納村
------	-----

平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1 - 観光地危険生物駆除事業(ハブ駆除事業)	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ
担当部課名	村民課	事業実施(予定)年度 平成24~26年度	観光客の受入体制の整備
		沖縄振興基本方針該当箇所	-1-(1)

事業内容	外来種のタイワンハブ等が観光客の多く訪れる真栄田岬や国頭方西海道(歴史の道)周辺で頻繁に発見、捕獲され、観光地での散策者への咬症事故が予想されるため、その周辺を重点区域とし積極的に駆除する。				
------	---	--	--	--	--

実施方法	直接実施	委託	補助	負担	その他 ()
------	------	----	----	----	---------

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況					
	(a)当初予算額	4,063	5,000	4,877		
	(b)予算現額	4,043	5,000	4,902		
	(c)増減額(b-a)	20	0	25		
	(d)繰越額	-	-	-		
	A.計(b+d)	4,043	5,000	4,902		
	B.執行済額	4,032	4,811	4,902		
	うち交付金充当額	2,438	3,848	3,921		
	次年度繰越額	-	-	-		
	執行率(%) (B/A)	99.7%	96.2%	100%		
予算の状況の説明	当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。					

活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)	達成状況			
		24年度	25年度	26年度	27年度
		ハブ生息地へのハブ捕獲器設置数	目標 (400箇所)	(400箇所)	(400箇所)
	実績	386箇所	420箇所	450箇所	
	目標	()	()	()	()
	実績				
達成状況説明	・観光地周辺を中心に、村内南部のタイワンハブ生息地にハブトラップ(罟)を設置して捕獲した。 ・4月からの事業実施により、捕獲器設置数の実績が上回った。				

成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)	基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)		
		ハブ捕獲器設置完了	目標	()	(設置完了)	(設置完了)	(設置完了)	()
			実績		設置完了	設置完了	設置完了	
		ハブ捕獲数	目標	()	(150匹)	(180匹)	(180匹)	()
実績			184匹	191匹	165匹			
進捗状況説明	活動目標の捕獲器設置数は上回ったが、捕獲数は目標を達成することができなかった。捕獲器設置エリア外に移動していると考えられるため、新たな捕獲器設置エリアを作成する必要がある。							

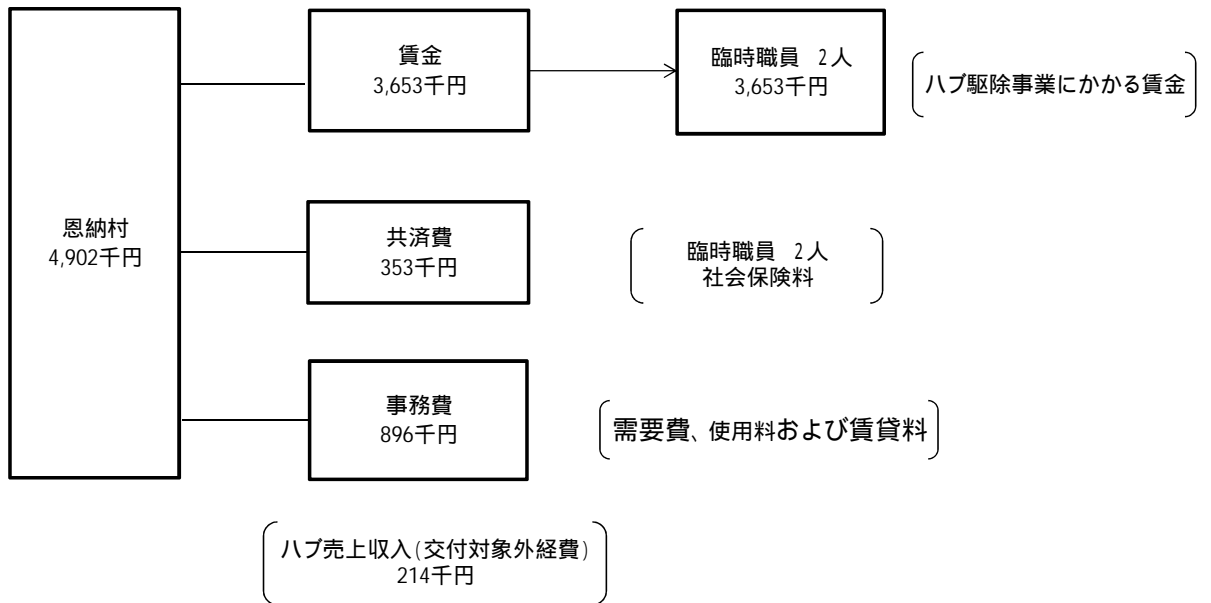
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ハブ生息地拡大が予測されるため、捕獲器設置エリアの拡大が必要である。 キビ刈り体験学習やレンタカーでの移動等により観光客が訪れる場所は変化しており、観光地以外の農地や集落への捕獲器設置も必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き駆除事業を継続的に実施し、ハブ生息地と非生息地の境界を重点区域として、生息地拡大を防止する。 ハブ捕獲数が減少しており、捕獲器設置エリア外に移動していると考えられるため、新たな捕獲器設置エリアの検討が必要である。

今後の取り組み方針

- 駆除事業を継続的に実施することにより、観光客や地域住民の危険を除去し更なる安全・安心な観光地を目指す。
- 新たな捕獲器設置エリアの検討及びハブ生息地と非生息地の境界へ重点的に設置することにより、生息地拡大を防止する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
5,116	4,902	3,921	981	214



資金の流 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	賃金職員の採用方法について、村の規則に準じ採用し、また、特殊事業のため経験者を採用した。 予算については、見積入札や村の規則に準じて積算しており、適正であったと考える。 費目、用途については事業目的の観点から必要なものか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適性であった。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名		恩納村											
平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】													
事業番号・事業名	1- 恩納村観光ナビマップ(多言語)作成事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(2)-ウ								
	担当部課名	商工観光課		事業実施(予定)年度 平成26年度		観光客の受入体制の整備							
				沖縄振興基本方針該当箇所		-1-(1)							
事業内容		国内外から来訪する観光客や長期滞在者に対応するため、日本語を含めた4カ国語のナビマップを作成する。											
実施方法		直接実施 委託 補助 負担 その他 ()											
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	26年度		27年度		28年度		29年度		30年度			
		(a)当初予算額	11,319										
	(b)予算現額	7,004											
	(c)増減額(b-a)	4,315											
	(d)繰越額	-											
	A.計(b+d)	7,004											
	B.執行済額	7,004											
	うち交付金充当額	5,603											
	次年度繰越額	-											
	執行率(%) (B/A)	100%											
予算の状況の説明		入札結果により、3月補正で4,315千円を減額した。当初計画していた事業内容はすべて実施しており、活動目標、成果目標の達成状況をかながみて適正であった。											
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況										
			26年度		27年度		28年度		29年度				
	既存マップの内容を検証し、関係機関と連携を図りながら情報を更新する。		目標	(情報の更新)		()		()		()			
			実績	情報の更新									
			目標	()		()		()		()			
			実績										
達成状況説明		<p>主要施設や関係施設の情報の追加・更新ができた。</p> <p>折りパンフレットから冊子にし、持ち帰ってもらうことでリピーター率を高くする効果や宣伝効果が期待できる。</p> <p>ページごとに各施設の詳細を確認できるため、更なる観光案内としての効果が期待できる。</p> <p>主要施設などの写真や文字を大きくすることでインパクトを与え、恩納村の魅力が伝わりやすくなった。</p>											
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(年度)		26年度		27年度		28年度		目標値(年度)		
	恩納村観光ナビマップの作成(日本語+英語)		目標	(0)		(60,000部)		()		()		()	
			実績			60,000部							
	恩納村観光ナビマップの作成(日本語+韓国語)		目標	(0)		(20,000部)		()		()		()	
			実績			20,000部							
	恩納村観光ナビマップの作成(日本語+中国語)		目標	(0)		(20,000部)		()		()		()	
実績					繁体10,000部 簡体10,000部								
進捗状況説明		<p>・当初計画していた部数を作成することができた。</p> <p>・県内主要施設へも積極的に配置し、恩納村のPRにつなげる。</p> <p>・外国(特に中国・韓国)からの観光客が増加し、また沖縄科学技術大学院大学があることから多言語の観光パンフレットは重宝されている。</p>											

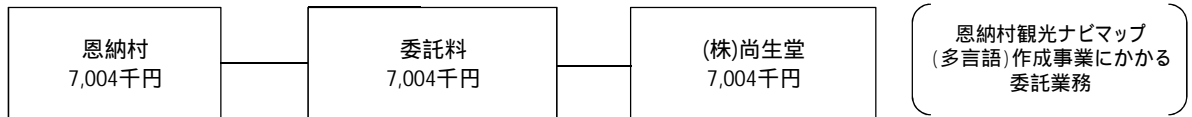
取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	主要な観光地・事業所の案内はできたが、詳細な位置図の提供ができていない。 当初配布計画にない事業所等からの依頼があり、配分調整が必要である。	ICタグを活用したパンフレット等を作成し、詳細な情報へ簡単にアクセスできる仕組みを検討する。 配布先の部数の調整及び増刷の検討が必要である。

今後の取り組み方針

村内各事業所は勿論のこと、村外にも積極的に配置し恩納村の観光PRを拡大する。
 更なる観光PRができるよう情報の追加更新を工夫し、ICタグなどの活用により簡単に多くの情報にアクセスできる仕組みを検討する。
 文化情報センター(旅の案内人配置事業)と連携し、観光客のニーズに沿った情報を盛り込めるよう検討する。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
7,004	7,004	5,603	1,401	0



資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	委託業者は指名入札により選定しており、妥当であったと考える。 予算規模については三者見積りにより積算し、入札残により補正減したが、適正な規模であったと考える。 ○費目・使途については精算段階で検査を実施しており、目的に則し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名 恩納村

平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

Table with 4 columns: 事業番号・事業名 (1 - 保安林等環境整備事業), 担当部課名 (農林水産課), 事業実施(予定)年度 (平成26年度), and 沖繩21世紀ビジョン基本計画該当箇所 (第3章-3-(2)-ウ, 観光客の受入体制の整備, 沖繩振興基本方針該当箇所 (-1-(1)))

事業内容 海岸線や沿道沿いの保安林内の樹木による隣接する住宅、農地等への被害防止及び沿道の歩行者やビーチ利用者の安全・安心を確保するため、枯死・衰退した危険木の伐倒及び枝の剪定を実施する。

実施方法 直接実施 委託 補助 負担 その他 ()

Table with 7 columns: 26年度, 27年度, 28年度, 29年度, 30年度. Rows include: 予算額・執行額 (予算状況), 予算の状況 (a-d), A. 計(b+d), B. 執行済額, うち交付金充当額, 次年度繰越額, 執行率(%) (B/A), 予算の状況の説明

Table with 5 columns: H26活動目標(指標), 26年度, 27年度, 28年度, 29年度. Rows include: 達成状況, 活動目標(指標)及び達成状況 (海岸線や沿道沿いの保安林等の危険木の伐倒及び剪定, 伐倒箇所:10か所, 伐倒本数:200本), 達成状況説明

Table with 7 columns: H26成果目標(指標), 基準値(年度), 26年度, 27年度, 28年度, 目標値(年度). Rows include: 成果目標(指標)及び進捗状況 (歩行者やビーチ利用者の安全性の確保・景観の保全, 伐倒の完了(調査済み箇所の100%)), 進捗状況説明

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 倒木の恐れがある危険木を伐倒し、近隣の道路や宅地への危険性を除去し、住民や通行人の安全性確保や利便性の向上を図れた。 伐倒本数が多い箇所については、保安林機能の維持および景観の回復が求められる。 今後の台風襲来や潮害により、危険木が増える可能性がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 危険木の伐倒本数が多い箇所については、保安林機能の維持および緑地帯の減少により景観が損なわれるため、景観回復が課題となる。新たに植栽することにより機能の維持および景観の回復が必要である。 潜在的な危険木を調査し、事業実施の必要性について検証する。 実施箇所については、県と十分調整し事業が計画どおり執行できるよう努める。

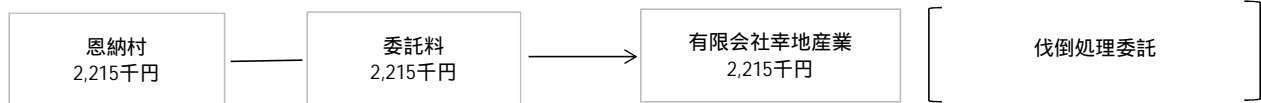
今後の取り組み方針

・伐倒が多い箇所については、「みどりの回廊」整備事業などの緑化事業と連携し、保安林に適した沖縄在来の樹種の植栽を行い、保安林機能の維持や、沖縄らしい景観の保全につなげる。

・今後、潜在的な危険木を調査し、県と調整したうえで必要に応じて事業を実施したい。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
2,215	2,215	1,772	443	0



資金の流 れ、費 目・ 使 途 の 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明	
	○		支出先の選定方法は妥当か。	委託事業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考える。 入札残が多く予算を補正減したが、最終的な事業精算・数量確定により不用額が19%となった。 費目、使途については事業の現場確認等を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-		受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	